

富海の古民家寄合所 水曜マルシェ「とのいち」 —登録有形文化財「清水家住宅主屋」—

防府支部支部長 原田和彦

私がこの建物に気づいたのは2022年度のヘリテージマネージャーの講習で、宿題を出されたのがきっかけだった。

富海の旧山陽道筋の町並みは以前から気に入っていて、この風景を活用できないだろうかと思っていた。改めてこの場所を訪れた時、椿峠を下って富海のまちに入るまさにその角地にこの建物があった。建物の風格にほれほれしながら玄関に近づくと「有形文化財」の表示がある。やっぱり！しかし屋根瓦は傷み始め、建物は使われている様子がない。このまま朽ち果ててしまうのはもったいない！と心が騒ぎ出す。

昨年2月、宿題で作った「惑沸街道マップ」をもって地元の知り合いに「何とかならんかねえ」と話を持ち込む。漁港施設を使った食堂「きいさんね」で熱く語っていたら食堂のオーナーさんも「なんね、なんね」と話に参戦。「それじゃったら、あの人とあの人にも入ってもらったら」と話しはどんどん膨らむ。次に集合した時にはなんと8人のメンバーが集まった。その中には清水家住宅のオーナーさんもおられ、話はトントン拍子に進む。

「地区の交流と居場所づくり」をテーマに7月5日第1回水曜マルシェ「とのいち」をスタート。以来毎週水曜日、午前9時～12時まで開いている。お陰様で地域の方々に浸透し、毎週お弁当を楽しみにされている方や一杯100円のコーヒーでテーブルを囲まれている方など常連さんも増えてきた。

地区の方に集まってもらってきっと建物も喜んでくれていると思う。



—登録有形文化財「清水家住宅主屋」—

登録年月日：2015年3月26日
建築時期：江戸/1,878年/1,975年頃改修
概要：木造平屋建 瓦葺 建築面積269㎡
場所：防府市大字富海字東町2657

